

たかさご新聞

演奏発表会で32サークルが熱演

笑顔と歌声が響き、観客とステージが一体に

10月17日（金）文化ホールで、演奏発表会が盛大に開催されました。

開会式では、金沢市長代理として山田副市長から温かい祝辞が贈られました。

午前の部・午後の部合わせて32ものグループが次々と登場し、練習を重ねてきた楽器演奏や踊り、歌声、朗読劇などを披露。1,000人収容のホールは満員の観客で埋め尽くされ、一つひとつの演目に大きな拍手が送られました。

スクリーンに歌詞が映し出され、観客とステージが一体に感じられました。



合唱クラブのみなさん

OEKミニコンサート開催決定

本格クラシックを身近で感じる贅沢なひととき

オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）は、金沢市を拠点とし、地域に根差した親しみやすい活動も積極的に行っており、多くのファンに愛されているオーケストラです。

「クラシックは初めて：」

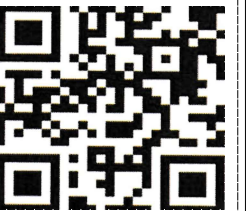
本物の音楽に触れる素晴らしい体験になります。多くのみなさんのご来場をお待ちしています。

日時：1月26日（月）13：30～
出演：オーケストラ・アンサンブル金沢（OEK）
楽団員4名（弦楽四重奏などを予定）
場所：彦三館 大研修室 参加費：無料
申込：お申し込みは不要です。
当日、直接会場へお越しください。
お問合せ：同窓会事務局 TEL268-8101



OEKのみなさん

発行
高砂大学校同窓会
会長 泉屋和雄
〒920-0901
金沢市彦三町1-15-5
金沢中央公民館2F
TEL (076) 261-8101
FAX (076) 261-8149
(HP) http://www.takasagoob.net



QRコードで
ホームページ

ラブの平能代表は、晴れやかな笑顔でこう語ってくれました。「練習の成果を出しきれて、バッチリでした。先生からは『歌声よりも笑顔で』と教えられていたの

で、それを胸に最高のステージを届けることができました。久しぶりの大舞台は少し緊張しましたが、仲間と歌える喜び、発表できる機会の素晴らしさを改めて感じました。」

能登半島復興支援募金

会場では、2024年1月の地震と9月の豪雨で被災された方々の復興を願う「能登半島復興支援募金」を、午前と午後の2回にわ



募金活動中の同窓会スタッフ

「沈黙の臓器」膵臓がん情報と自分の足で歩く

10月9日（木）に開催された「すこやか健康講座」では、私たちの健康寿命に関わる2つの重要なテーマが取り上げられました。

見つけにくい「膵臓がん」定期検診と医療の進歩

最初のテーマは、金沢医療センター副院長の大西一朗先生による膵臓がんの講演です。膵臓は「沈黙の臓器」と呼ばれ、自覚症状が出にくい

ことが、治りにくい最大の理由だと説明されました。膵臓は血糖値を調節するインスリンを分泌するため、機能が衰えると糖尿病のリスクが高まります。また、消化を助ける膵液の分泌が滞れば、消化不良や体重減

「皆様が一番の頼りです」会長の言葉を胸に

赤い羽根共同募金のボランティアが街角へ

金沢市共同募金委員会の出発式が10月1日（水）に松ヶ枝福祉館で行われ、今年も「赤い羽根共同募金」の街頭活動が始まりました。その後1週間で延べ180人の同窓会ボランティアが参加しました。

マイクの前に立った國枝徳雄（のりお）会長は、出発式に集まったボランティアに向かって、「皆様が、金沢市の共同募金で一番頼りです」と力強く語りかけました。

集まった募金は、子どもたち、お年寄り、障がいのある「支援が必要」や「困っている」方々を「未来」につなぐように活用されます。そして「赤い羽根」は、「たすけあい」活動のシンボルです。



出発式後のボランティアのみなさん



熱心に受講するみなさん

今回の講座は、定期検診という「未来への備え」と、日々の生活習慣という「現在の積み重ね」の両方が、健康長寿に不可欠だと教えてくれました。

看護学生臨地実習受入サークル一覧（1年生75人が受講）				
10月15日（水）	AM	①歌謡クラブ	9人	
	PM	②民謡会	9人	③謡曲教室 9人
		④ダンスサークル	9人	
10月23日（木）		⑤煎茶翠会	5人	⑥マクrameサークル 4人
	AM	⑦ハーブクラブ	5人	⑧フラダンスクラブ 6人
		⑨英会話レッスン会	5人	
	PM	⑩ダンスクラブ	9人	⑪煎茶翠会 5人



看護学生とダンスサークルのみなさん

臨地教育実習で看護学生75人が来館サークル活動で元気の秘訣や生きがいを学習

10月15日（水）と10月23日（木）に金沢医療センター附属金沢看護学校（3年制）の1年生75人が来館し、延べ11サークルが臨地実習受入に協力しました。

普段、病院や入所施設で患者さんと接する機会の多い学生たちが、「元氣な高齢者の暮らし」を学ぶ臨地教育実習の一環として、各サークルを訪問し一緒にサークル活動に参加しました。

社交ダンスサークルには、9名の看護学生が参加しました。質問タイムが始まると、20歳前後の学生たちは、事前に準備してきたリストを手に、少し緊張ぎみに質問しました。「皆さんの「生きがい」は何ですか？」「ダンス以外に健康で氣をつけていることはありますか？」。

その問いかけは、実習だからというだけでなく、人生の大先輩から何かを学び取ろうとする純粋な探求心に満ちていました。

サークルの皆さんは、そんな学生たちの姿に、温かい笑みを浮かべます。一つひとつの回答を、一言も聞かずに漏らすまいと熱心にペンを走らせる学生たちの姿に、会場は学校の教室のような

「元氣な高齢者」と一括りにしてはできない、一人ひとりの豊かな人生の物語。それを知らうと真摯に向き合う学生たちの姿勢と、それに優しく応えようとするシニアの皆さんの温かい心。この日の交流は、臨地実習の枠を超え、シニアと学生の世代を超えたバトンが手渡されるような、貴重な教育実習の時間でした。

時に「私もあなたの年の頃はね」と自身の青春時代を懐かしみ、時に「年を取ると物忘れもするけど、それもご愛敬」とユーモアを交え、人生の機微を語ってくれました。長い年月を重ねてきたからこそ語れる、大切な言葉の数々でした。

令和仲良し会 いろんなクラブ？
仲間と楽しむ旅行・温泉で癒しを 会員募集中

令和仲良し会 会長

116期1組 藤農 照一
「令和仲良し会って、何を
しているの？」と気になっ
ている方も多いのではない
でしょうか。

現在、会員数は105人（う
ち令和7年度新入会員46人）
と、多くの方が集まってい
ただいています。

そこで今回は、私たちの
楽しい活動内容をご紹介します。

私たちの活動はシンプル
です。同じ価値観を持った
仲間が、旅行や温泉などを
通じて、心ときめく時間を
共に過ごすこと。それが目
的。

他のクラブ活動（歌、踊
り、運動など）が日々の
『主食』だとすれば、仲良
し会は、さらに人生を豊か
に楽しむための『デザート』

日常が輝き出す「五・七・五」で
心豊かな暮らしを始めませんか

さんご句会 会長

112期1組 久保 紀代
私が俳句を始めたのは、
テレビで俳句の番組を見た
のがきっかけでした。『五・
七・五』という短い言葉の
中に、風景や気持ちを込め
る奥深さに惹かれました。

「季語」を意識するよう
になると、道端に咲く草花
の名前を調べたり、空の雲
の形に季節の移ろいを感じ
たりと、毎日が新鮮な発見
に満ち溢れます。

私たちの「さんご句会」

では、月に一度集まり、お
互いの句を褒め合う時間は
とても楽しく、大きな励み
になっています。

俳句の魅力は、紙と鉛筆

月	令和7年度の主な活動内容
5月	班別ランチ会（粟津温泉喜多ハ、ホテル金沢、十間町こちや）を実施して新旧会員の交流親睦を図った。
6月	日帰りバス研修（小浜めぐり、越前塗り箸体験）31名参加
8月	ホテル翠湖（片山津温泉）一泊懇親会（花火観賞）43名参加
9月	いこいの村（能登半島）温泉一泊 BQ（バーベキュー）& GG（グランドゴルフ）11名参加
1月	新年会（予定）



日帰り旅行(6月)で、塗り箸体験後、小浜市神宮寺で記念撮影

のクラブとのご都合に合わ
せて、「今回は参加してみ
ようかな」という行事だけ
を選んで、気軽にご参加い
ただけます。

今後も、皆さんの心の癒
しやリラクセスに繋がるよ
うな、楽しい行事を企画し
ていきます。

私たちのモットーは「楽
しくなければクラブではな
い！」。

少しでも興味を持たれた
方は、いつでも歓迎（ウエ
ルカム）です。

耳で聞く情感豊かな
朗読サークル

朗読サークル「本棚」が
10月10日（金）13時より彦
三館視聴覚室で第5回発表
会を開催しました。

2020年に10人でスター
トしましたが、現在は25人
と増え、人気のサークルと
なっています。

11名が日頃の練習成果を
披露しました。後半の朗読
会は、10月24日（金）に開
催し、12名が発表しました。

作者の意図を汲み取り、
感情豊かに表現された朗読
は、聴衆の心に深く響き、
文字だけでは伝わらない感
情や空気感を届けてくれ、
文学の世界へ誘い込みまし
た。

月2回の活動では、単に
文書を読むだけでは無く、
一つの作品を参加者が交代
で読む「群読（ぐんどく）」
や、作品の背景について意

文学作品
「本棚」第5回発表会

見を交わすことを通じて、
仲間との交流を深めていま
す。

朗読で大きな声を出す事
は、喉の筋肉を鍛え、誤嚥
予防につながり、健康面に
効果がありますと会員のひ
とりが話しました。

講師の押野市男先生は、
「上手い下手で評価せず、
自分なりに作品を読み込み、
表現する事を楽しんで欲し
い」と会員一人ひとりの個

性を尊重する方針を大切に
していると語られました。

会長の定塚さんは、冒頭
に「朗読は、心豊かな心を
育む大切な場。会員の熱い
思いでこの日を迎えられる
した」と挨拶。仲間と共に

物語を味わう「本棚」の活
動は、これからも多くの人
に心の潤いを与えていくこ
とでしようと言われました。



朗読サークル「本棚」で発表会

トップバッターを務めた
林早苗さんは、鈴木司（つ
かさ）作「物件案内」を朗
読。静かな語り口で登場人
物を表現し、会場を静寂に
包み込みました。離婚した孤独
を抱えた高齢女性が、人の
温かいつながりに満ちた新
たな住まいを見つける物語
です。「情景が聞き手に伝
わるよう、頭の中で思い浮
かべながら喋っています。
最後に『オチ』が素敵なの
で、ぜひ聞いて欲しい」と
作品への思いを語りました。

「仲間と共に末永く」を合言葉に
「いいよ水曜会」 クラス会活動の活性化継続中

114期2組 会計 丸川 靖子
私達「いいよ水曜会」
（114期2組）は、クラス会
長の下、様々な交流の場を
設けています。「クラス役
員会」と「班長副班長会」
をそれぞれ2か月に一度開
催し、会員の皆様が魅力に
感じるイベントについて話
し合っています。

6月のウォーキング研修
会に14名が参加しました。
兼六園小立野口をスタート
し、小立野寺院群を見学し
ながら県立図書館までを散
策。当日は良い天気恵ま
れ心地良い汗を流しました。

8月にはアパホテルで暑
気払いランチ会を開催。豪
雨にもかかわらず25名もの
方々が参加されました。お
いしい食事の後はビンゴゲ
ームを楽しみ、「リーチ！」
「ビンゴ！」の声飛び交
い、夏の暑さを吹き飛ばす
ほど盛り上がりました。

10月には18名が参加して
日帰りバス旅行に出かけ、
福井県の三方五湖方面を訪
れました。

今後は1月に新年会、4
月にはランチ会を兼ねたク
ラス総会を予定しています。
すこやか体育まつりでは、
同窓会役員が応援団長とな
り、団長を中心にうちわや
風船スティックを手し、全
員一丸となって声援を送り



ランチ会で集合写真

OB歴史会 泊旅行紀行文
飛鳥の地をたずねて

OB歴史会 会長

107期3組 藤堂昭雄
去る9月25・26日、総勢
46名で日本人の心のふる里、
飛鳥の地を訪ねた。

飛鳥時代とは592年〜
710年の約120年間を
いうのである。まず、最初
に法隆寺を訪れ、五重塔、
金堂の裳階の位置や仏像の
材質を確認した。翌26日は
いよいよ石舞台古墳の見学
である。高松塚古墳展示館
では極彩色の朝鮮民族の女



法隆寺前で記念写真

大杉と並ぶクレインや天高し
鈴虫の鳴くや一夜（いちや）のリーニン
豊漁上賜（はらわた） 旨し焼き秋刀魚
糰子（もみすり）の玄米掴み笑顔かな
おもかげや刈田の後のなおあおし



三方五湖の展望台で集合写真

俳句・短歌
石路句会

本堂へ長き回廊そぞろ寒
そぞろ寒昔のままの石の屋根
一人居の心も淋しそぞろ寒
金木屋香り余命を華やける
ふくよかに香る木屋句碑の路

和子 素子 照子 義景 吉隆

雪椿句会

兼六園のことし灯籠に列なせばはなれて写す記念の写真
浅緑のつやつや葡萄の値が上がる盆に一人は尚さびしくて
サンバだかナンだか知らぬが浮かれ出しリズムに乗ってる私の心身
真夜中にソフティッシュパックの上に置くラジオ深夜便キンキンの音質
一口に老いは語れず富士山頂に立つ百一歳をテレビが映す

OB短歌会

兼六園のことし灯籠に列なせばはなれて写す記念の写真
浅緑のつやつや葡萄の値が上がる盆に一人は尚さびしくて
サンバだかナンだか知らぬが浮かれ出しリズムに乗ってる私の心身
真夜中にソフティッシュパックの上に置くラジオ深夜便キンキンの音質
一口に老いは語れず富士山頂に立つ百一歳をテレビが映す

重子 妙子 照子 良子 千佳子